

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 野村紀代彦
幹事 山下雅則
会報委員長 藤井邦彦

2021～2022年度 国際ロータリー シェカール・メータ 会長テーマ

Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3143回例会プログラム

[当年度=20回目；当月=4週目]

2022年（令和4年）1月24日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 会長挨拶並びに会長報告

7. 新会員挨拶……………澤田 昌秀 会員

8. 幹事報告

9. 出席報告

※第2四半期皆出席の発表(出席委員会)

10. 委員会報告

11. ニコニコボックス報告

12. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(1/31) ……休会

(定款第7条第1節 (d))

(2/7) ……

卓話 「子どもの声が聞こえるキャンパス、
地域から頼られる大学」

講師 国立大学法人愛知教育大学

学長 野田 敦敬 様

(紹介者 石川 泰隆 会員)

13:00 13. 本日のプログラム

卓話「元気・笑顔・希望のまちづくり」

講師 刈谷市長 稲垣 武 様

(紹介者 内藤 昇 会員)

14. 謝辞

15. 点鐘……………〈会長〉

16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

出席

会員総数 100名 出席免除 26名

出席義務者+免除者の内例会出席者 90名

欠席 10名 出席率 88.88%

前々回(1/7)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 1月22日(土)豊田カントリー倶楽部にて、1月度ゴルフ例会を開催しました。グロス84、ネット74.4盛田豊一会員が優勝されました。

幹事報告

- 1) 新型コロナウイルスの急速な感染拡大により1月21日に愛知県にまん延防止等重点措置が適用されました。先程、遠藤会員からご案内があった通り、例会を開催するにあたり、少し寒いかもかもしれませんが換気には十分気を付けるとともに、食事につきましても一部会員の方に大会議室で召し上がって頂き密を回避するように致します。会員の皆様には何かとご不便をお掛け致しますがご協力をお願い致します。
- 2) 改めてご案内を致しますが、2月19日に予定されていた西三河分区インターシティー・ミーティングにつきましても、新型コロナウイルスの急速な感染拡大のためYouTubeライブ配信によるオンライン開催へ変更になりました。予定会場のホテルグランドティアラ安城では無くなりましたので、お間違いないようお願い致します。
- 3) 本日、澤田昌秀会員が入会されましたので、会員総数は99名から100名になりました。澤田会員は親睦活動委員会の配属となります。
- 4) 本日例会終了後に特別会議室にて第8回理事会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

野村紀代彦



最近よくZ世代という単語を目にします。1990年代後半に生まれた世代がこのように呼ばれています。1980年代から1990年代前半生まれをY世代、ミレニアム世代とも呼ばれていますが、Y世代、Z世代ともに生まれながらデジタルに慣れ親しんでいるためにデジタルネイティブといわれているようです。ちなみに1965年から1980年頃に生まれたいわゆるジェネレーションX、X世代は当クラブ会員の中にも多くいらっしゃると思います。この世代はデジタルネイティブではないですがデジタルにも適応力がとても高いのでデジタルイミгранトといわれているようです。私は1960年生まれなのでデジタル世代の仲間に入れてもらえないようです。マーケットの世界には団塊の世代、団塊ジュニア世代、バブル世代、ゆとり世代、しらせ世代、さとり世代など生まれ年でカテゴライズする手法がよくとられますが寿命が延びて年齢に関係なく元気でアクティブな方も多くなってきておりこのような分類に意味があるのかなとも思いますしロータリークラブの元気な先輩方を拝見していると特にそう感じる今日この頃であります。

新会員紹介

氏名 澤田 昌秀
生年月日 昭和53年7月8日
推薦者 鈴木文三郎 会員
職業分類 塗装工事業
事業所名 株式会社エムアール
役職名 代表取締役
所属委員会 親睦活動委員会



澤田 昌秀 会員

卓 話

「元気・笑顔・希望のまちづくり」をめざして

講師 刈谷市長 稲垣 武 様



皆様こんにちは。稲垣でございます。本日は、お招きを頂きましてありがとうございます。

皆様には、日頃より市政全般に対し、格別なるご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本日は、市政報告と致しまして、「元気・笑顔・希望のまち」の実現に向けた今年度の取り組みについて、お話をさせて頂こうと思っております。

本市では、今年度、市民の皆さまが「元気」で「笑顔」にあふれ、未来に「希望」が持てるまちづくりの実現を目指し、「守ろう！安心安全と健康」、「育てよう！子どもと未来」、「輝こう！暮らしと仕事」の3つの項目を軸に、各種施策に取り組んでいるところでございます。

それでは、主な施策を抜粋して、ご説明させて頂きます。

まず、「守ろう！安心安全と健康」という項目から、「带状疱疹予防接種費用助成」でございます。

带状疱疹は、50歳以上の方の場合、約2割の方に带状疱疹後神経痛と呼ばれる、長期間にわたる痛みが残ります。

この带状疱疹の発症及び重症化を予防するための予防接種にかかる費用の一部を、令和3年8月から助成しております。

最後に、実績ですが、8月に助成を開始してから、11月末までに接種した方の人数は469人となっております。

次に、「高齢者タクシー助成事業の拡充」でございます。

65歳以上の方の外出や通院などを支援し、高齢者福祉の増進を図るため、高齢者タクシー及び介護タクシーに係る助成対象者を拡大するほか、介護タクシーでは、拠点及び行き先に係る要件を廃止しました。

次に、「公園施設の充実」でございます。

日高公園やミササガパーク（猿渡公園）など比較的面積が広い地域の公園、いわゆる近隣公園を対象に、公園全体の再整備にあわせて、ウォーキングコースや健康遊具を整備し、近隣のお住いの皆さまの健康増進の場を創出してまいります。また、公園内のトイレの洋式化やグラウンド及びテニスコートへの日除けの設置により、快適な利用環境を創出してまいります。

次に、「環境への取組や支援」でございます。

まず、1点目、環境講演会の開催ですが、市民の皆様の環境意識の高揚を図るため、去る11月6日、産業振興センターにおいて、エコ実験パフォーマー「らんま先生」を講師に招き、SDGsや地球温暖化問題などについて講演頂きました。当日は、幅広い世代の方100名以上にご来場頂いております。

次に、2点目、かりやエコ事業所認定制度ですが、この10月に更新を行い、環境に優しい取り組みを積極的に

進める市内の37社をエコ事業所に認定致しました。今後もエコ事業者の増加に努め、事業者、行政が一体となった環境の取り組みを進めてまいりたいと考えております。

最後に3点目、次世代自動車購入費補助金ですが、本市では、事業で使用する次世代自動車の購入に対する補助を行っております。このほかにも国からの補助がありますので、事業者の皆様には、これらを活用頂き、環境にやさしい次世代自動車の積極的な導入をお願いするものです。

環境事業の一例を紹介しましたが、このほかにも多くの事業を行っています。脱炭素社会の実現に向け、引き続き環境事業の充実を図ってまいりますので、今後も事業者の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

次に、二つ目の「育てよう！子どもと未来」という項目から、「三世代同居等住宅支援」でございます。

子育て世代が安心して生活することができるよう、世代間で助け合える三世代同居等を支援し、定住促進を図ることを目的とし、親・子及び孫の三世代で同居又は近居するための住宅の建築や取得に係る費用の一部を補助する制度となっております。

次に、「小学校体育館の空調設備の整備」でございます。

まず小中学校の空調設備の整備状況でございますが、平成29年度に中学校の普通教室と理科室、音楽室など一部の特別教室、30年度に小学校の普通教室と一部の特別教室、昨年度令和2年度には、小中学校の残りの特別教室への設置を完了しております。

引き続き、児童の熱中症対策として、教育環境の向上および、災害時の避難所機能強化を図ってまいります。

次に、「刈谷スマートインターチェンジ整備事業」でございます。

刈谷スマートインターチェンジは、伊勢湾岸自動車道の豊田南インターから豊明インターの間にあります刈谷パーキングエリアに新たなインターチェンジを整備するため、刈谷ハイウェイオアシスにおいて工事を進めているものでございます。

スマートインターチェンジの整備効果としましては、周辺にある大規模工場から高速道路までの所要時間が短縮されることなどによる「産業の生産性の向上」周辺幹線道路の利便性が向上し、地域全体の交通が分散化することによる「交通渋滞の緩和」、地域の賑わいの創出や観光振興による「周辺地域の活性化」、災害時における救援物資の輸送や救急活動の効率化による「地域防災性の向上」が期待されております。

また、これらの整備効果を最大限に発揮するためにも、スマートインターチェンジ整備に合わせて広域的な道路ネットワークの形成を進めております。

刈谷スマートインターチェンジは、新たな交通結節点として、今後の本市の発展に大きく寄与するものと考えておりますので、今後も利用促進などのPRを継続的に進めてまいります。

次に、「魅力あふれる公園づくり事業」でございます。

本市には、109箇所の都市公園や39箇所の児童遊園など、大変多くの公園や広場があり、レクリエーションや地域コミュニティの場、防災拠点などの役割を果たして

まいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大や高齢化の進展などに伴う社会情勢やニーズの変化により、公園が担う役割は多様化しており、公園の持つ機能のさらなる充実や魅力の向上が求められております。

そこで、今年度から本市を代表する洲原公園や岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみといった5つの公園を対象に、各公園の特徴をいかした将来構想を策定し、誰もが行きたくくなるような「魅力あふれる公園」の実現を目指します。

現在は、「市民公園づくり会議」として、地域の方や一般公募による参加者など様々な市民の方々にご意見を伺いながら、構想の素案の策定に向けた取り組みを進めております。

次に、「JR刈谷駅総合改善事業」でございます。

JR刈谷駅は通勤や通学などで日頃から多くの方にご利用頂いている刈谷市の玄関口であり、重要な交通結節点であります。

利用者は駅が橋上化された平成元年の頃は1日当たり約2万5千人であったことに対して、コロナ前の平成30年は約7万2千人と約3倍まで増加しておりますが、ホームの幅は昔から変わらないので、特に通勤時間帯はホームの端まで人で溢れ、乗降客も交錯するため改札までの移動にも時間を要するなど、駅の安全性確保と利便性の向上が喫緊の課題となっております。

令和元年度にホームの拡幅やホームドアの設置、コンコースの拡張などの改良を行う事業について、JR東海と事業合意となる覚書を締結し、昨年度より事業に着手しました。本年度は主に工事車両の搬入路などを整備する工事を行っており、1月からは駅本体の工事にも着手してまいります。

本事業はJR東海が事業主体となり、国・県とともに市も補助金を交付して、令和8年度の完了を目指して事業を推進してまいります。

次に、「刈谷駅北地区地域交流施設」でございます。

この施設は、刈谷駅北口に完成した再開発ビルの2階に昨年の9月にオープン致しました。

刈谷駅南北連絡通路から直結しており、駅から徒歩で2分という、とてもアクセスしやすい場所でございます。

施設の目的としましては、地域の方々をはじめ、まちなかで様々な人々が滞在し、出会い、交流が可能な施設として、にぎわいの創出を目指しております。

次に、「ウィングデッキ整備事業」でございます。

ウィングデッキ整備事業は、愛知県と整備を同調し、桜町交差点の横断地下道の混雑緩和を目指し、桜町交差点を横断する歩行者デッキを整備します。

将来、ウィングデッキと刈谷駅北口デッキを接続し、刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間の形成に努めてまいります。

次に、「地域応援商品券事業」でございます。

本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、外出自粛などの影響を受けた地域の店舗や市民生活を応援することを目的に、市民の方一人につき5,000

円分の商品券を配布する事業でございます。

対象者は、令和3年10月1日時点で住民基本台帳に記録のある方であり、商品券を使用できる取扱店舗を掲載しました取扱店一覧とともに、11月1日より世帯主様宛に順次ゆうパックで郵送致しました。

次に、「キャッシュレス決済ポイント還元『いいじゃん刈谷！飲食店応援食べにいこまいキャンペーン』」でございます。

本事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が特に大きい飲食店の支援とキャッシュレス化の推進を目的として、市内飲食店でスマートフォン決済アプリを利用した方に、ご利用代金の最大20%のポイントを還元する事業で、市民のみならず、どなたでも対象になるものでございます。

キャッシュレス決済ポイント還元事業は、市内の飲食店で対象となる決済サービスをご利用頂ければどなたでもポイント還元が受けられますので、このキャンペーンを機会に多くの方に飲食店をご利用頂きたいと考えております。

次に、「飲食店感染防止対策支援事業補助金」でございます。

本事業は、飲食店における感染対策の徹底強化を図るため、愛知県が飲食店を認証する制度「ニューあいちスタンダード」（通称「あいスタ」）を令和3年6月に創設したことを受けまして、市内飲食店における「あいスタ」認証店の認証取得を促進し、感染症対策の強化を図るため、あいスタ認証取得のために購入及び設置した間仕切りや二酸化炭素濃度測定器等の購入費用を補助率10分の10で1店舗あたり10万円まで補助する事業でございます。

本事業をご活用頂き「あいスタ」認証店の認証取得に取り組んで頂ければと考えております。

次に、「市制施行70周年プラス1事業」でございます。

本市は令和2年4月1日に市制施行70周年を迎えました。本来であればこの節目の年を市民の皆様と共にお祝いしたいと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの記念事業が中止又は規模縮小となりました。そういった背景から、ワクチン接種がある程度行き渡る時期に、市制施行70周年プラス1事業のメインイベントとなるような事業を実施しようという結論に至り、刈谷の魅力発信事業の一環として、幻想的な光のイベントを2つ実施することとなりました。

1つ目は、刈谷駅北口周辺にて、12月20日(月)から2月28日(月)にかけてイルミネーションを実施するというもの、2つ目は、刈谷ハイウェイオアシスにてプロジェクションマッピングを実施するものでございますが、実施に向けた詳細は現在調整中でございます。市民の皆様には「元気・笑顔・希望」をお届けできるよう、準備を進めてまいりたいと思います。

最後に、「新型コロナウイルスワクチン接種の追加接種」でございます。

既に昨年の12月から主に医療従事者の方、また今月から一般の高齢者の方も始まっておりますが、本市においても追加のワクチン接種を実施してまいります。

対象者としましては、2回目の接種から原則6か月を

経過した18歳以上の方となります。また、接種券は今月が接種月となる方を除きまして、概ね接種可能開始日の前後に順次発送していきます。

費用は前回と同じく無料であり、追加接種に使用するワクチンはファイザー社製並びに武田/モデルナ社製のワクチンとなっておりますので、1、2回目と違うワクチンメーカーでの接種、いわゆる交差接種も認められることとなります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの生活は、大きく変わりました。市民の皆様には、ワクチン接種にご協力頂き、徐々に日常生活を取り戻しつつあるかと思いますが、依然として様々なご不安やご不便を感じておられるかと思いますが、また、事業者の皆様におきまして、徐々に経済活動が動き出しているところでございますが、様々な業種において、依然として厳しい状況にあると認識しております。

本市と致しましても、先程ご紹介した取組をはじめとしまして、今後も引き続き、感染拡大防止や社会経済対策に全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。



第8回理事会

- I 会長挨拶 〈会長〉
- II 議題
 - 1. 2月・3月のプログラム（案）について 〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
 - 2. 第17会刈谷音楽祭後援名義使用について 〈社会奉仕委員長〉
 - 3. 三河ベイフットボールクラブへの支援金について 〈社会奉仕委員長〉
 - 4. インターシティ・ミーティング（IM）の変更について 〈幹事〉
 - 5. 「エンドポリオ」エコバッグご購入協力について 〈幹事〉
 - 6. WFF カーボンゼロ植樹の協力について 〈幹事〉
 - 7. その他
- III 会場監督の所見

1 月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和 4 年 1 月 22 日(土)

於：豊田カントリー倶楽部

成績	氏名	G	H	N
優勝	盛田 豊一	84	9.6	74.4
2 位	奥野 櫻子	80	8.4	71.6
3 位	磯部 一智	86	13.2	72.8
B B	加藤大志朗	118	30.0	88.0

